

阪神は木曜から金曜にかけて80ミリ程度の降雨があるようで、
当日は良馬場になっても路盤は緩む可能性が高いと考えられます。

展開・ペースについては予測困難ですが、
少なくともパンパンの高速馬場にはなりそうもなく、
標準的な時計を要する馬場が有利になるような
血統馬の台頭には気を付けたいと考えております。

・エミュー

父：ハービンジャー(欧ダンチヒ系)

母父：スペシャルウィーク(Tサンデー系)

祖母父：米ゴーンウエスト(ミスプロ系)

生産牧場：ノースヒルズ

レース間隔：中2週

前走：G3フラワーカップ1着(2人気)

前走馬体重：414キロ

不良馬場のG3フラワーカップ(中山1800m)を
勝ったように非主流条件を得意とする個性の持ち主。

この個性は牝系ファミリーに由来するところが大きく、
ファミリーは内回り・小回りの1400m・1800mを得意としております。

血統評価：D

適性評価：D

傾向評価：D

・キタウイング

父：ダノンバラード(ディープ系)

母父：アイルハヴアナザー(米フォーティーナイナー系)

祖母父：ゼンノエルシド(欧ニジンスキー系)

生産牧場：ミルファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞7着(5人気)

前走馬体重:432キロ

時計を要する馬場に強いダノンバラード産駒。

ディープ系×大系統ミスプロ系の配合は高評価対象。

ただ、本馬の牝系ファミリーは中山巧者で、

本馬自身もG3フェアリーS(中山1600)優勝馬。

また、ミルファーム生産馬は関西圏のレースに

非常に弱く、関西では滅多に走らないのが不安材料。

しかし、前走チューリップ賞5人気以内に該当し、

キャリア6戦中5戦で上り2位以内をマークと言うのも

恐さを感じるところでございます。

血統評価:B

適性評価:C(馬場によってはB)

傾向評価:C

・コナコースト

父:キタサンブラック(Tサンデー系)

母父:キングカメハメハ(大ミスプロ系)

祖母父:米ヴァイスリージェント系

生産牧場:ノーザンファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞2着(6人気)

前走馬体重:458キロ

クラシック活躍馬を多数輩出している

バレークイーン牝系の出身馬。

キタサンブラック産駒は高速馬場よりも

時計を要する馬場の方が向いている傾向があり、
週中の大雨で路盤が緩むようならチャンスが広がりそう。

血統評価:B

適性評価:B

傾向評価:B

・コンクシェル

父:キズナ(ディープ系)

母父:ガリレオ(欧サドラーズ系)

祖母父:マキャベリアン(欧ミスプロ系)

生産牧場:ノースヒルズ

レース間隔:中3週

前走:アネモネS2着(13人気)

前走馬体重:452キロ

血統評価:B

適性評価:D

傾向評価:D

・シングザットソング

父:ドゥラメンテ(欧キングマンボ系)

母父:ファピアノ系(米ミスプロ系)

祖母父:米ノーザンダンサー系

生産者:社台コーポ白老

レース間隔:中3週

前走:G2フィリーズレビュー(1400m)1着(2人気)

前走馬体重:436キロ

牝系ファミリーは勝ち星の74%がダート戦の
ダートファミリーで、芝の良績は非根幹距離に集中。

血統評価:B

適性評価:D

傾向評価:D

・シンリョクカ

父:サトノダイヤモンド(ディープ系)

母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

祖母父:カーリアン(欧ニジンスキー系)

生産者:下川辺牧場

レース間隔:中16週

前走:G1阪神JF2着(12人気)

前走馬体重:440キロ

母の半兄ダノンシャーク(ディープ系種牡馬)は
G1マイルCS優勝の他、マイル重賞で11度馬券に
絡んだ名マイラーでございました。

本馬はスローペースの新馬戦(東京1600m稍重)を
上り最速で圧勝し、次走の阪神JFでは超ハイペースの
消耗戦に対応してみせ12人気ながら2着に激走。

馬場状態やペースに左右されずに力を出せるのは
競走馬としては非常に重要な才能であり、
前走をフロック視されて下位人気に甘んじるようなら
面白い存在になりそうですね。

鞍上がサウジのG1でパンサラッサに13億円を
稼がせた「大金運男」の吉田豊殿というのも宜しゅうございますなあ。

血統評価:B

適性評価:A

傾向評価:A

・ジューンオレンジ

父:ジャスタウェイ(Pサンデー系)

母父:シンボリクリスエス(欧ロベルト系)

祖母父:サンデーサイレンス

生産者:ヒダカファーム

レース間隔:中3週

前走:G2フィリーズレビュー(1400m)3着(11人気)

前走馬体重:446キロ

曾祖母ツインクルブライドは桜花賞2着馬。

ですが、牝系ファミリーはスプリンターの一族ですな。

パンパンの高速馬場なら念のために押えとくかあ
といったイメージでございます。

血統評価:C

適性評価:C

傾向評価:D

・トーセンローリエ

父:サトノクラウン(欧ノーザンダンサー系)

母父:メイショウサムソン(欧サドラーズ系)

祖母父:ステイゴールド(Tサンデー系)

生産者:エスティファーム

レース間隔:中3週

前走:アネモネS1着(1人気)

前走馬体重:426キロ

血統評価:C

適性評価:C

傾向評価:D

・ドゥーラ

父:ドウラメンテ(欧キングマンボ系)

母父:キングヘイロー(欧リファール系)

祖母父:ステイゴールド(Tサンデー系)

生産者:グランデファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞15着(1人気)

前走馬体重:476キロ

牝系ファミリー全体の勝ち星は

ローカルでのものが78.6%を占める

ローカル一族でございますな。

血統評価:B

適性評価:D

傾向評価:C

・ドウアイズ

父:ルーラーシップ(欧キングマンボ系)

母父:ディープインパクト

祖母父:欧ダンチヒ系

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中7週

前走:G3クイーンC2着(2人気)

前走馬体重:446キロ

前走クイーンカップからの母父ディープインパクトが

桜花賞で馬券になっていないのは少々不安でございますが...

血統評価:C

適性評価:B

傾向評価:B

・ハーパー

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

母父:米APインディ系

祖母父:米ミスプロ系

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中7週

前走:G3クイーンカップ1着(6人気)

前走馬体重:466キロ

母はアルゼンチンのダート1600G1ホース。

アルゼンチンの芝血統は日本の高速馬場に適性が高いですが
ダート血統の場合はダート馬に出やすく、半姉ヴァレーデラルナは
JBCレディースクラシックG1の勝ち馬でございますな。

前走のクイーンCは、少し上り時計の掛かる展開と
稍重馬場が合っていたところもある訳ですが、
当日の路盤が緩いようであれば、再び恵まれる可能性も。

血統評価:C

適性評価:C

傾向評価:C

・ブトンドール

父:ビッグアーサー(プリンスリーギフト系)

母父:スウィフトカレント(Lサンデー系)

祖母父:欧ニジンスキー系

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中3週

前走:G2フィリーズレビュー6着(1人気)

前走馬体重:496キロ

スプリント血統にスプリント牝系。
1600mはちょっとどうでしょうか？

血統評価:D

適性評価:D

傾向評価:D

・ペリファーニア

父:モーリス(欧ロベルト系)

母父:ハーツクライ(Tサンデー系)

祖母父:エタン系(欧ネイティヴダンサー系)

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞3着(2人気)

前走馬体重:496キロ

エフフォーリアの半妹になりますが、
父モーリスの影響を受けた本馬はマイラー体型ですな。

従兄弟に種牡馬アドマイヤムーンがいる牝系ファミリーで、
3歳重賞活躍馬も多数出ている完成の早い一族でございます。
また、阪神芝1600mに適性の高い牝系ファミリーでもあり
牝馬は特に好相性(複勝率47.1%/複回率154%)

血統評価:B

適性評価:B

傾向評価:A

・ムーンプローブ

父:モーリス(欧ロベルト系)

母父:フジキセキ(Pサンデー系)

祖母父:米ダンチヒ系

生産者:追分ファーム

レース間隔:中3週

前走:G2フィリーズレビュー2着(7人気)

前走馬体重:464キロ

ダートのスプリント牝系で、馬体も短距離型。
距離延長でパフォーマンスを上げるイメージはありませぬ。

血統評価:C

適性評価:D

傾向評価:D

・モズメイメイ

父:リアルインパクト(ディープ系)

母父:フランケル(欧サドラーズ系)

祖母父:エンパイアメーカー(米ミスプロ系)

生産者:社台ファーム

レース間隔:中4週

前走:G2チューリップ賞1着(7人気)

前走馬体重:456キロ

牝系ファミリーの阪神外回りコース実績は

勝率35.3%/単回率170%

複勝率64.7%/複回率123%

大系統サンデー系×大系統ノーザンダンサー系の配合は
桜花賞ニックスと呼ぶべき好走血統。

血統評価:A

適性評価:A

傾向評価:B

・ユリーシャ(除外)

父:グレーターロンドン(ディープ系)

母父:ハービンジャー(欧ダンチヒ系)

祖母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)

生産者:スカイビーチステーブル

レース間隔:中8週

前走:エルフィンS1着(6人気)

前走馬体重:446キロ

グレーターロンドンの産駒は

距離延長ローテでの1600mが最も期待値が高く、
前走延長ローテで1600mを勝った直後の同距離は
反動の心配がある「不利ローテ」に該当します。

血統構成自体は桜花賞ニックスに該当するので、
完全無視と言う訳にも参りませぬが...

血統評価:A

適性評価:B

傾向評価:D

・ライトクオンタム

父:ディープインパクト

母父:米ミスプロ系

祖母父:米ダンチヒ系

生産者:社台ファーム

レース間隔:中12週

前走:G3シンザン記念1着(2人気)

前走馬体重:428キロ

ディープインパクトのラストクロップ。
小柄な牝馬で、母系から直線のトップスピードを
強化されている「超主流血統」。

前走は、配合から考えれば苦手なはずの
前傾ラップの消耗戦でしたが上り最速勝ち。
相手に恵まれた感もありますが...

鞍上の武豊殿はディープインパクトの主戦を務めた騎手で、
ディープのラストクロップとなれば、並々ならぬ思い入れが
あるでしょうし、それが弟の幸四郎厩舎の管理馬となれば
尚の事でございましょう。

去年はハナ差及ばず、弟にG1初勝利を

プレゼント出来なかっただけに「今年こそ」の思いも。

血統評価:A

適性評価:A

傾向評価:B

・ラヴェル

父:キタサンブラック(Tサンデー系)

母父:ダイワメジャー(Pサンデー系)

祖母父:米ヴァイスリージェント系

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中16週

前走:G1阪神JF11着(4人気)

キタサンブラック×Pサンデー系という配合は
阪神1600mの残念配合に該当してしまいます。

また、半姉ナミュールは阪神JF、桜花賞で
1人気を裏切って馬券圏外に終わっており、
牝系ファミリーは左回りに良績が集中する
サウスポーの一族でございますな。

血統評価:D

適性評価:C

傾向評価:C

・リバティアイランド

父:ドウラメンテ(欧キングマンボ系)

母父:オールアメリカン(欧ロベルト系)

祖母父:ザール(欧ミスプロ系)

生産者:ノーザンファーム

レース間隔:中16週

前走:G1阪神JF1着(1人気)

前走馬体重:462キロ

2022年のJRA最優秀2歳牝馬。

母は豪州の芝1200m～2000mのG1で
2勝、2着2回、3着1回という実績馬。

スローペースの新馬戦では、上り最速
31秒台という異常な上りタイムで圧勝。
前走の阪神JFでは、レースの上り時計が
36秒以上を要する消耗戦を圧勝して見せました。

3歳春を迎えて馬体の完成度に磨きがかかり、
ノーザンファームしがらきで抜かりなく仕上げられた印象。

血統評価:B

適性評価:A

傾向評価:A